

2008年度経済産業省委託事業
「中小企業向け指導者育成事業」
実施報告

持田啓司／大塚商会

2009年6月3日

事業目的

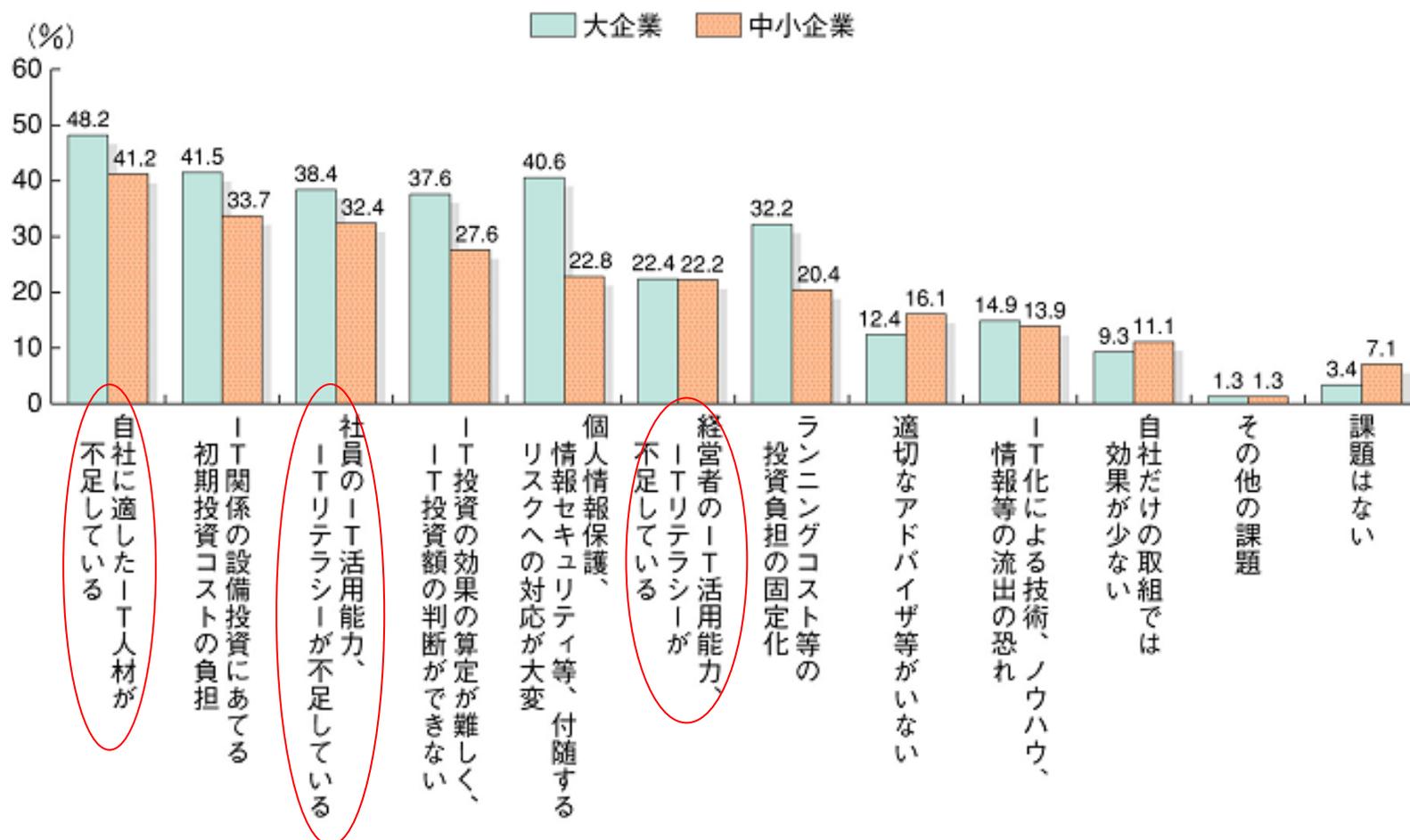
我が国企業の情報セキュリティ対策レベルは、全体的に向上しつつあり、コンピュータウイルス対策ソフト等の基本的対策については多くの企業が対応しており、セキュリティポリシーの策定率等も着実に増加している。

しかし、中小企業における対策の取組は、大企業と比較して遅れが見られ、大企業と中小企業の情報セキュリティ対策実施率の差異は拡大している。

また、昨今、大企業が業務を委託している中小企業からの情報漏洩等も発生していることから、**中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図る。**

ITに関する課題

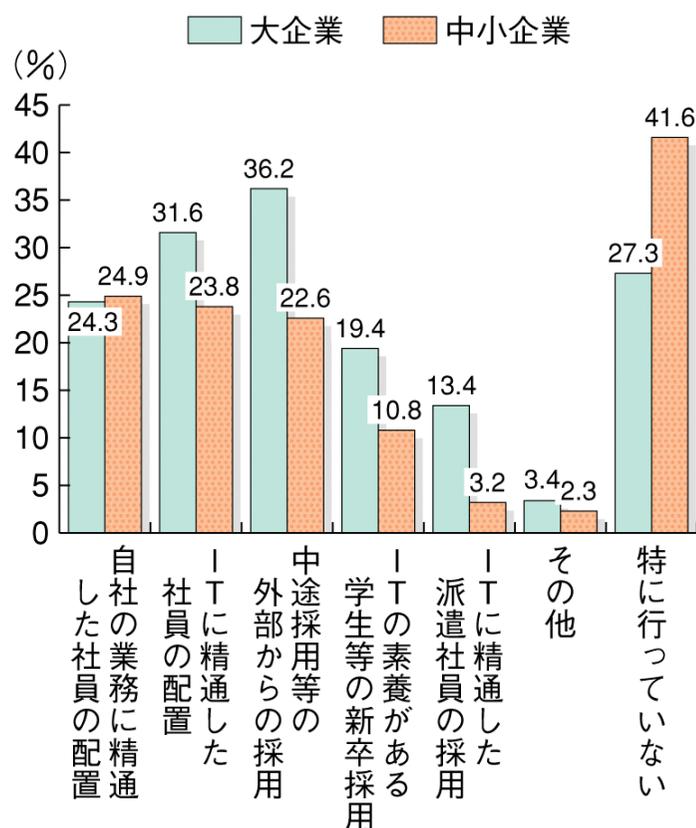
～IT投資やIT活用における課題～



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「ITの活用に関するアンケート調査」(2007年11月)

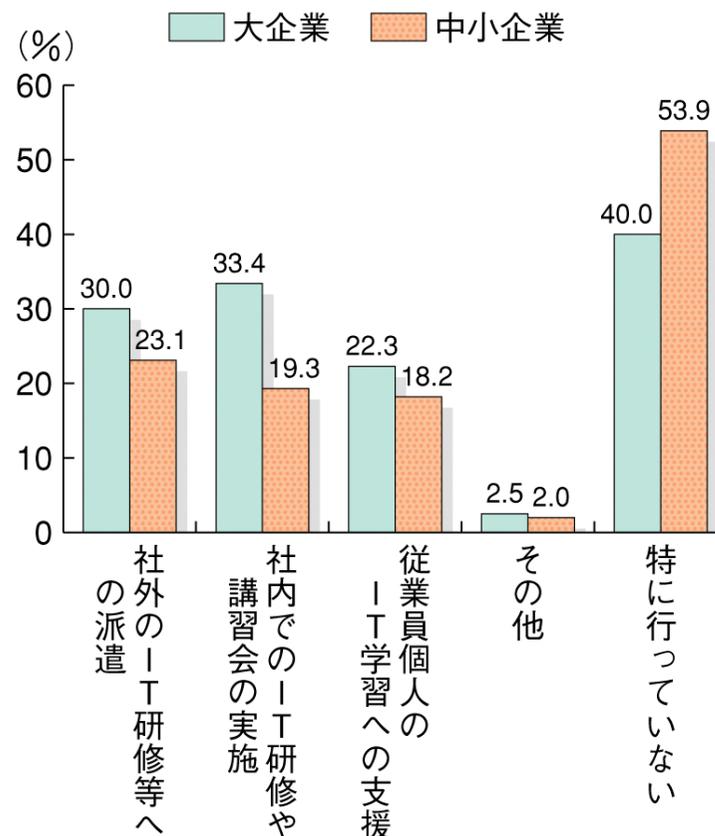
人的課題への取り組み

～IT人材確保のための取り組み～



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「ITの活用に関するアンケート調査」(2007年11月)

～従業員のIT能力向上のための取り組み～

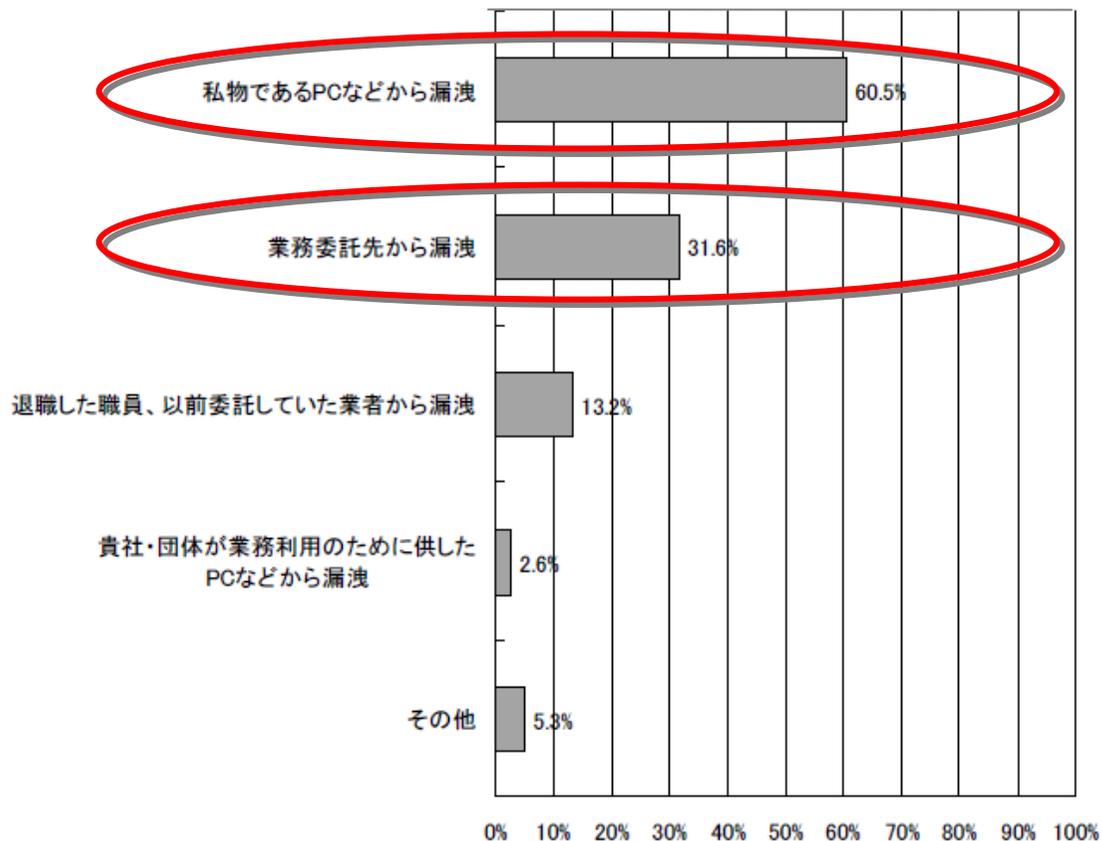


資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「ITの活用に関するアンケート調査」(2007年11月)

中小企業の情報セキュリティ対策の現状



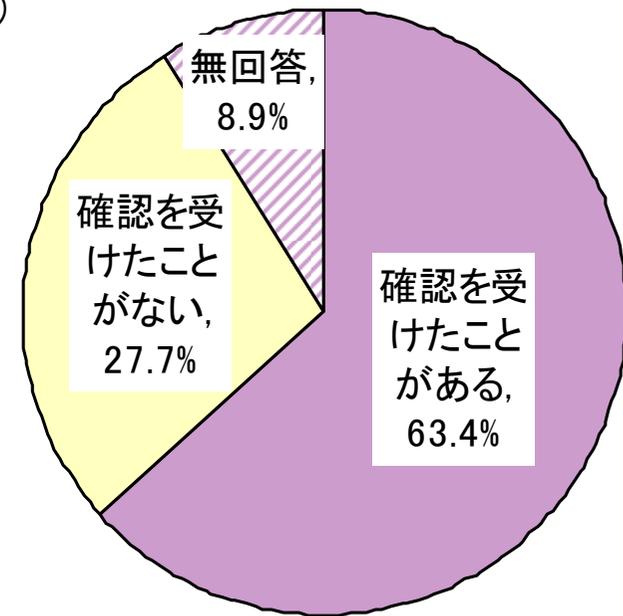
- 情報漏えいの要因は、従業員や委託先からの情報漏えいによるものが多い



情報漏えいが生じた際の経路・状況

警察庁「不正アクセス行為対策等の実態報告書」平成19年1月

(N=224)



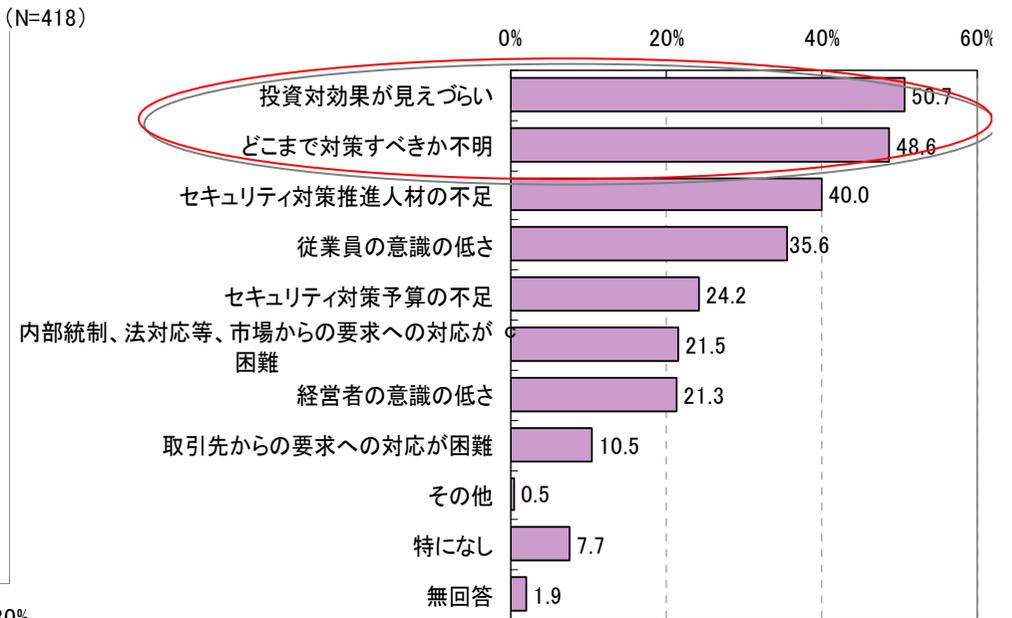
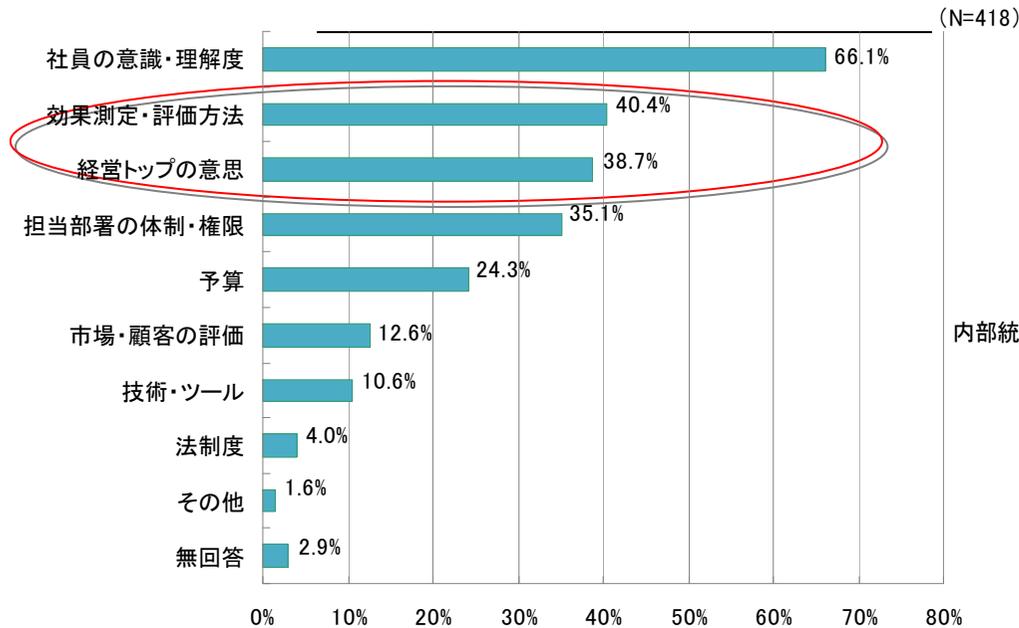
中小企業における取引先(業務受託元)からの情報セキュリティ対策状況の確認の有無

IPA「中小企業の情報セキュリティ対策
確認手法に関する実態調査」より

中小企業の課題

明確な経営層の意志とその徹底の必要性

- 情報セキュリティ対策に関する経営上の位置づけが不明確で現場任せ
- 情報セキュリティガバナンスの確立方法に関する情報が不足



情報セキュリティガバナンス確立に係る課題(複数回答可)

情報セキュリティガバナンスシンポジウム2008アンケート結果
回収数445件(回収率 52.3%)

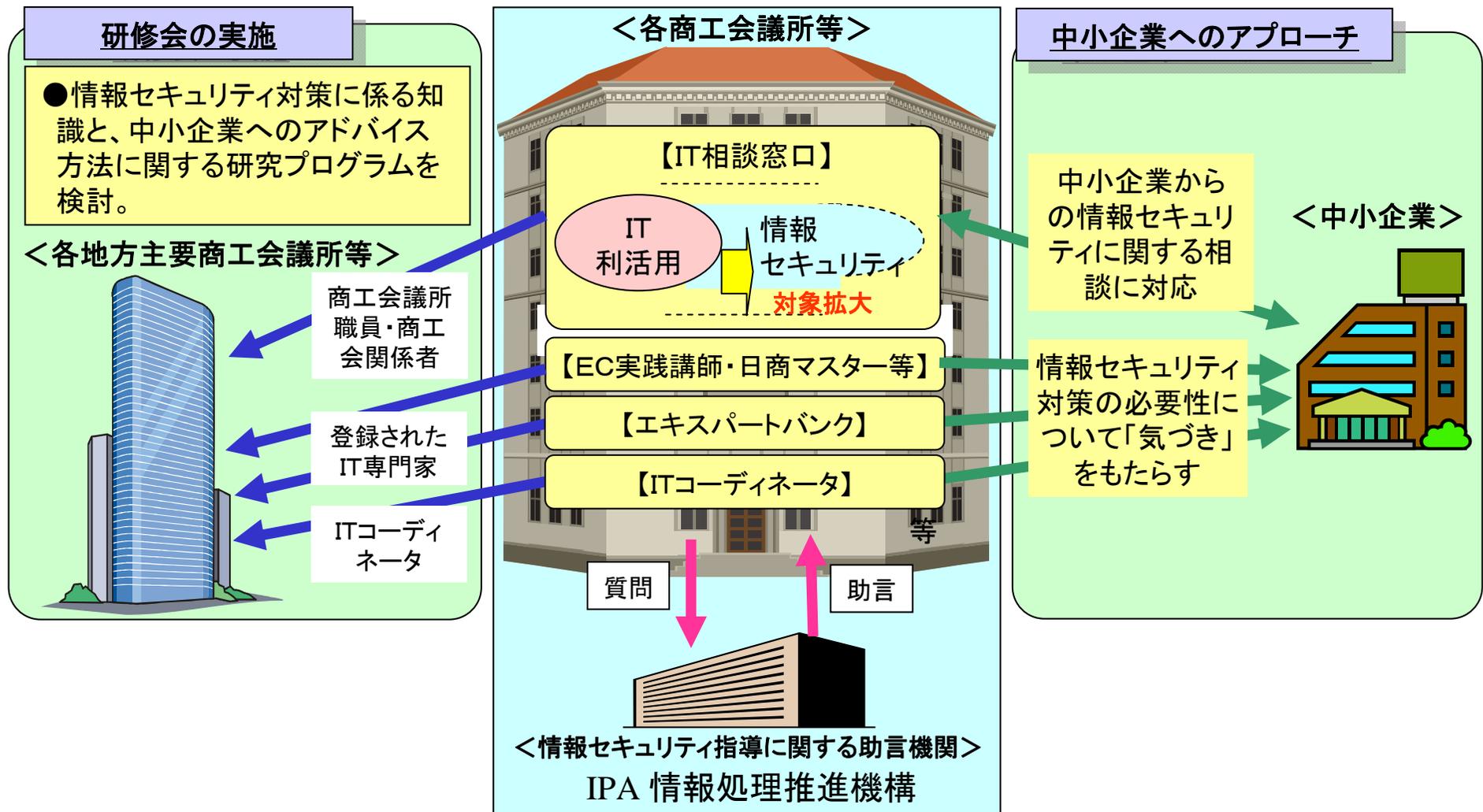
中小企業における情報セキュリティ対策上の課題

IPA「中小企業の情報セキュリティ対策
確認手法に関する実態調査」より

中小企業の情報セキュリティ対策促進事業概要 **JNSA**

- 全国の商工会議所の職員、商工会職員、EC実践講師、ITコーディネータ等を対象とした情報セキュリティ研修を開催。
 - ✓ 各商工会議所の職員、商工会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応。
 - ✓ EC実践講師、ITコーディネータ等のITの専門家は、IT利活用の支援等を実施する際に、併せて情報セキュリティ対策の必要性について「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の実施を導く。
- 一部の商工会議所、商工会関係者等においては、情報セキュリティに関する「相談コーナー」を設置。
- 各商工会議所職員、商工会関係者、EC実践講師等が、助言を求めることを可能とするコールセンターを設置。

中小企業情報セキュリティ対策促進事業 スキーム **JNSA**



指導者育成セミナー概要

- 期間:2009年2月～2009年3月
- 開催数:全国各地16ヶ所にて17回開催
- 主催:
 - 経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
- 後援:
 - 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO ITコーディネータ協会、開催地の商工会議所・県商工会連合会
- 定員:各会場 100名
- 参加対象:商工会議所関係者(商工会議所職員、EC実践講師、日商マスター、エキスパートバンク登録者等)、商工会関係者、ITコーディネータ、その他中小企業へ指導を行う立場にある人
- 日程:基礎編 9:30～12:30、応用編 13:30～17:00

会場別一覧



ブロック	開催地域名（後援団体）	日時 会場	参加者(名)
北海道	北海道（札幌商工会議所）	2009年 3月 2日 月曜日 北海道経済センター 7F大会議室	45
東北	宮城（仙台商工会議所）	2009年 3月 23日 月曜日 仙台商工会議所 7F大会議室	36
	福島（福島県商工会連合会）	2009年 3月 26日 木曜日 ビッグパレットふくしま 3F中会議室B	20
関東	東京（東京商工会議所）	2009年 3月 5日 木曜日 東京商工会議所ビル 7F国際会議場	130
	東京（東京商工会議所）	2009年 3月 27日 金曜日 東京商工会議所ビル 地下2F講堂	64
	静岡（浜松商工会議所）	2009年 2月 24日 火曜日 浜松商工会議所会館 マイカホール	38
	新潟（新潟商工会議所）	2009年 3月 4日 水曜日 新潟商工会議所 中央会館4F 40号室	33
中部	岐阜（岐阜商工会議所）	2009年 2月 16日 月曜日 岐阜商工会議所会館 5F議員総会室	53
近畿	滋賀（滋賀県商工会連合会）	2009年 3月 17日 火曜日 コラボしが21 3F大会議室	58
	大阪（大阪商工会議所）	2009年 3月 10日 火曜日 大阪商工会議所 401会議室	96
中国	島根（島根県商工会連合会）	2009年 3月 19日 木曜日 島根県商工会館	37
	広島（広島商工会議所）	2009年 2月 23日 月曜日 広島商工会議所 202号会議室	34
四国	香川（高松商工会議所）	2009年 3月 9日 月曜日 高松商工会議所 501会議室	25
九州	福岡（福岡商工会議所）	2009年 3月 18日 水曜日 福岡商工会議所 505会議室	66
	長崎（長崎県商工会連合会）	2009年 2月 27日 金曜日 長崎商工会議所 2Fホール	38
	鹿児島（鹿児島商工会議所）	2009年 3月 24日 火曜日 鹿児島商工会議所 14F会議室	26
沖縄	沖縄（浦添商工会議所）	2009年 3月 30日 月曜日 浦添市産業振興センター・結の街 3F大研修室	25
		合 計	824

テキスト内容抜粋(説明)

4 事例紹介(クライアント編)

4-5 フィッシング詐欺

- **フィッシング詐欺とは**

- 巧妙な文面のメールなどを用い、実在する企業(金融機関、信販会社、オンラインショップなど)のWebサイトを装った偽のWebサイトにユーザを誘導し、クレジットカード番号、ID、パスワードなどを入力させて盗み取る不正行為

- **典型的な手口**

- ユーザを錯誤させる騙しメール
 - 送信元の偽装
 - 巧みなメール本文
- 本物の様な偽のWebサイト
 - 実在する企業名やロゴを使用
 - 実在のWebサイトと同じデザイン
- 個人情報の入力を求める
 - 入力フィールドが用意されている



テキスト内容抜粋(事例)

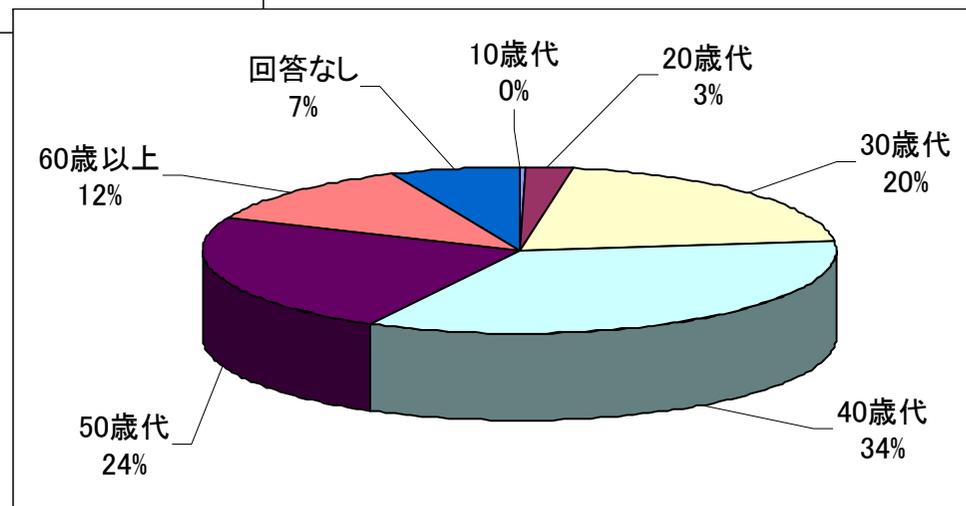
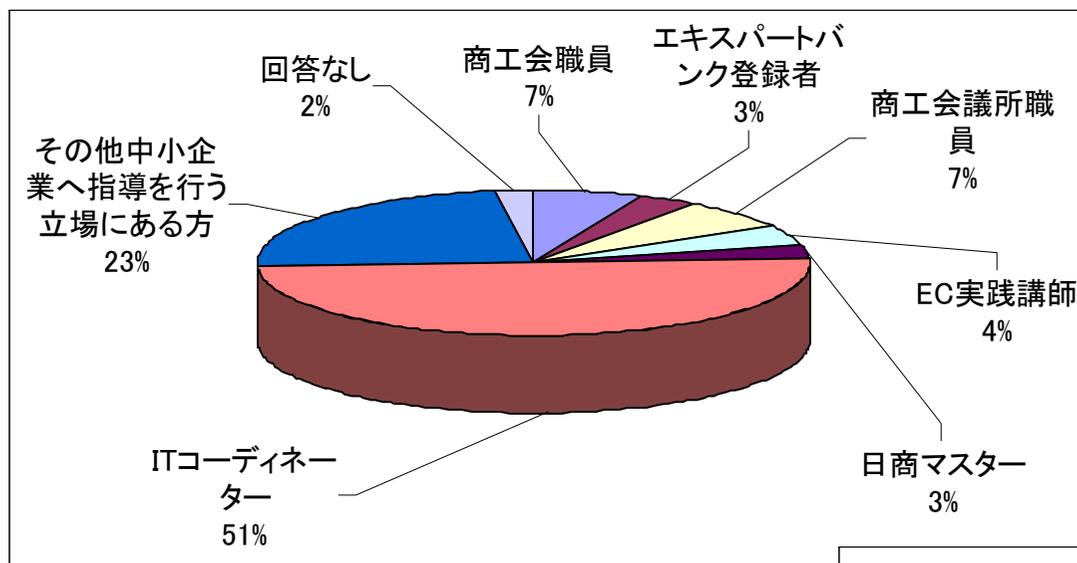
4 事例紹介(クライアント編)

正しいURLを偽装している!

本物のサイトから部品を流用

本来出ているはずの「鍵マーク」が出ていない!

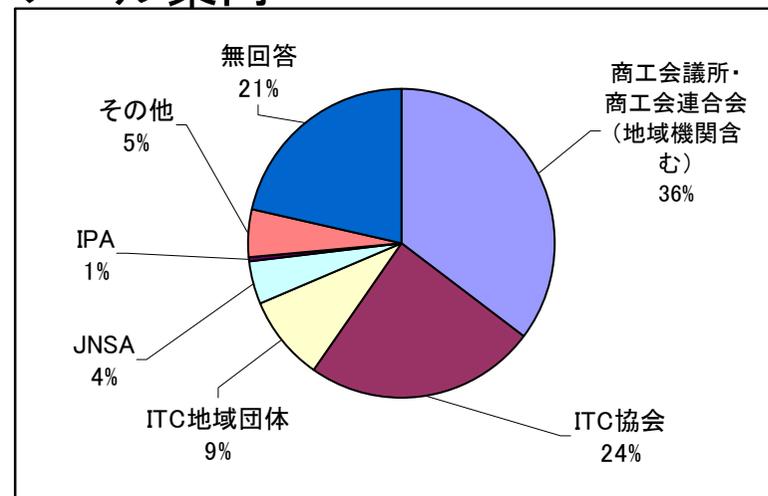
参加者概要



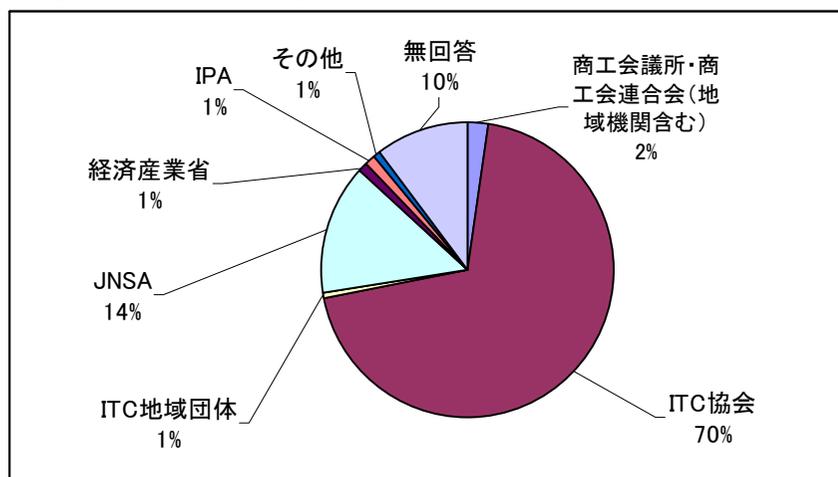
セミナーを知った媒体

回答項目	回答数
メール案内	303
チラシ	24
ホームページ	270
その他	127
回答なし	4

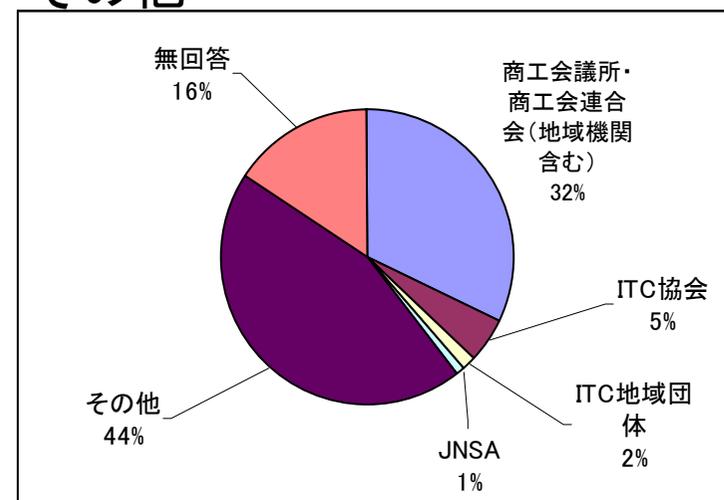
メール案内



ホームページ



その他



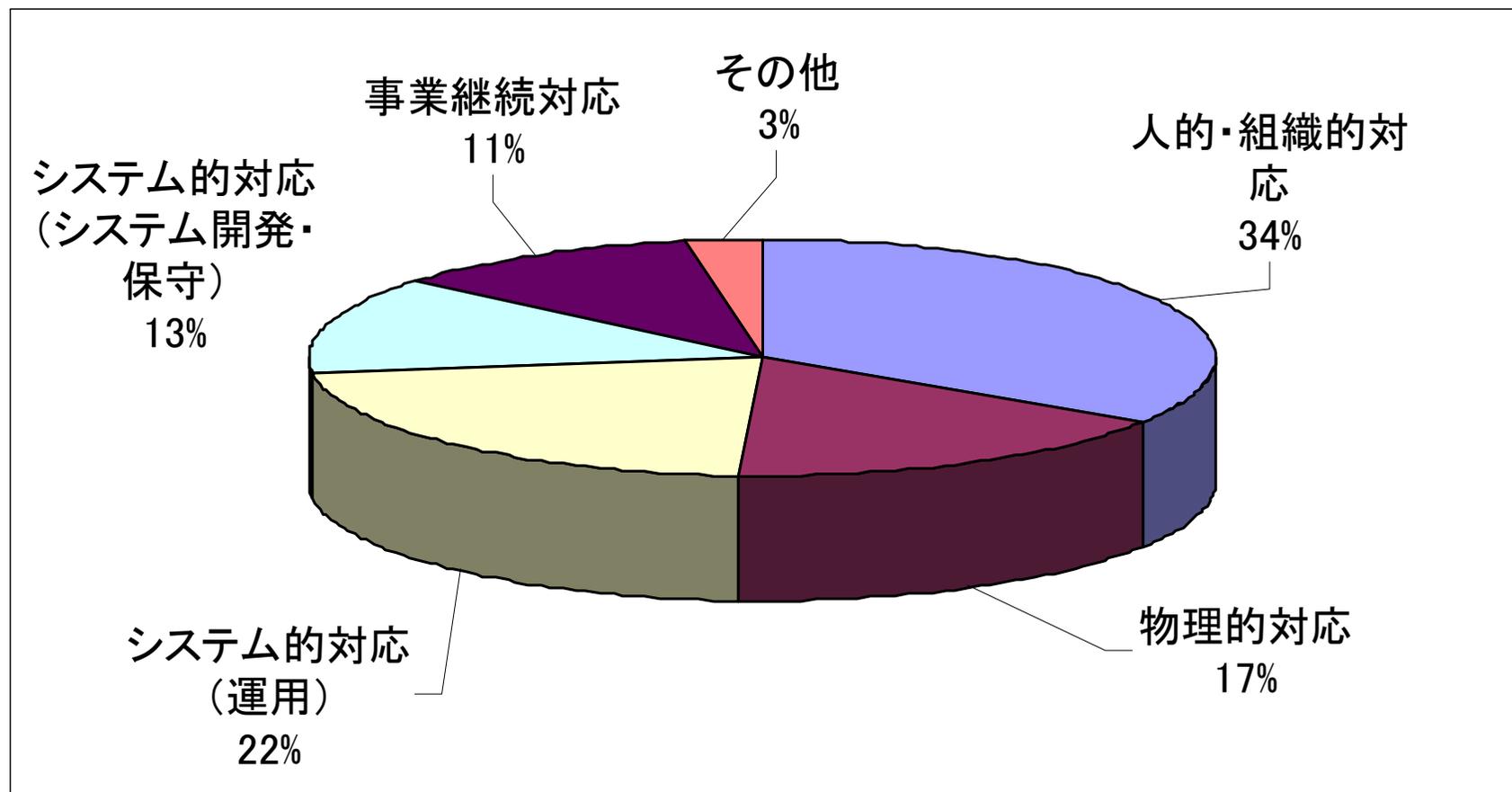
受講の感想

- おおむね役に立ったという意見が90%超
- 全体としては講師への評価を含めて好評



- 個別意見
 - セキュリティを経営業務に落とし込んだ事例の説明
 - 事件・事故に発展した事例や事後の対策、運用例の具体事例
 - 特に大企業と比較した場合の対策のポイントや、指導方法
 - 中小企業でも数十名規模の会社を想定して内容を絞るともっと役立つと思う

受講者が感じている対策の課題



課題に関する意見(特記)

- 啓発活動が重要
 - 企業倫理、経営者の一歩間違うと経営危機の問題となるという意識。
 - サプライチェーンにおける企業間同士の意識向上策
- 経費に対する考え方
 - 中小企業にはお金がないが、それを乗り越えてまでセキュリティを強化する必要性を説くべき
 - 「守る」だけでなく「意識」「業務内容」の変革を視点にした提案が必要
- 具体的な対応策提示が必要
 - セキュリティ以前に利用実態すらない会社がまだあるので、セキュリティ対策から導入すると良いかも。
 - 中小企業の業種特性や成熟度に応じて何をやればよいか個別に考える必要があり、どれが重要かは一般論ではなかなかいえないのではないかと
- 対策への制度的なアメとムチ
 - 法的処置、ライセンス制(PCライセンス、インターネット利用ライセンス)、企業向けのPCやLAN・インターネットを利用する場合の手続きを設ける

中小企業の診断ツール

- なすべきことの明確のための「5分で出来る自己診断シート」(IPA) 配付
- セミナー参加者に紹介し、指導の活用を依頼

5分で出来る自己診断シート (案)

入門レベルとしての最低限実施すべき情報セキュリティ対策の自主点検表

あなたの会社の対策状況について再点検してみましょう
(経営者が管理者の方がご記入ください)

確認日: _____

確認者: _____

No.	項目	内容	チェック			
			実施している	一部実施している	実施していない	わからない
以下の項目について、すべての社員が実施しているかをお答えください。						
1	重要情報について	机の上を常に整理整頓するなどのように、重要情報とそれ以外を仕分けしていますか？				
2	事務所について	事務所で見知らぬ人を見かけたら声をかけるなどのように、無許可の人の立ち入りがないようにしていますか？				
3		ノートパソコン利用者は、退社時に、机の上のノートパソコンを引き出しに片付けるなどのように、盗難防止対策をしていますか？				
4		最終退社者は事務所に施錠し退社の記録(日時、退社者)を残すなどのように、事務所の施錠を管理していますか？				
5	重要情報について	社外へ重要情報を持ち出す時はパスワードロックをかけるなどのように、盗難・紛失時の対策をしていますか？				
6		重要な書類やCDなどを廃棄する場合は、シュレッダー等により、重要情報が読めなくなるような処理をしていますか？				
7		重要情報の入ったパソコン・記憶媒体を廃棄する場合は消去ソフトを利用したり、業者に消去を依頼するなどのように、重要情報が読めなくなるような処理をしていますか？				
8		鍵付き書庫に保管したり退社時に施錠を行なうなどのように、重要情報が持ち出されないような管理をしていますか？				
9		パスワードは自分の名前を避けるなど、推測されないようなものに設定していますか？				
10	パスワードについて	パスワードは、毎年1回程度、定期的に変更していますか？				
11		パスワードを、他人が見えるような場所に貼らないようにするなどのように、他人にわからないように管理していますか？				
12	ウイルス対策について	パソコンにはウイルス対策ソフトが入っていますか？				
13	ウイルス対策について (注)	ウイルス対策ソフトのパターンファイル*1は最新版に自動設定されていますか？				
14	パソコンについて (注)	ソフトウェアの修正プログラム更新(Windows Update等*2)を適宜行っていますか？				

商工会議所等の見た課題

- 経営者層の意識や知識
 - 全体に「やや低い」を中心にした分布
 - 50名以上とそれ以下での差が大きいと感じている傾向
 - 従業員層も同様
- 指導的立場の有無
 - 全国で見ると正規分布に近いが、地方では専門的知識を有する方が不足しているという意見が多い
 - 個人レベルでの対応が大部分と感じられており、地域全体の意識向上には、今の体制では限界を感じている
- その他
 - ネット活用どころか導入すら行っていない事業所もある。そのような状況から情報セキュリティの必要性を感じていない企業が多い

※ 開催会場16ヶ所、全国商工会議所130ヶ所へのアンケートより

相談コーナー開催

		浜松会場	札幌会場	福岡会場
開催日時等		3月12日(木) 13:30~16:30 浜松商工会議所	3月16日(月) 13:00~16:00 札幌商工会議所	3月25日(水) 13:30~16:30 福岡商工会議所
相談員概要	相談員数と、主な保有資格	4名 ITコーディネータ(4) EC実践研修認定講師(1)	3名 ITコーディネータ(3) ISMS主任審査員(1)	4名 ITコーディネータ(4) 公認情報セキュリティ監査人(1) 公認システム監査人(1)
【参考】関連施策	定例相談会	ITなんでも相談 (毎月第二木曜)	ITに関するもの無し	専門相談(IT) (毎週木曜日)
		<ul style="list-style-type: none"> IT相談の対象は、HP作成、ネットショップ支援、PC活用。 情報セキュリティ関連で唯一の記載はコンピュータウイルス対策のみ。 個人情報漏えい防止対策(日商の情報漏えい賠償責任保険制度紹介)。 		
	インストラクター派遣制度	○ IT相談窓口で専門員派遣の受付	○ エキスパート・バンクでの案内(HP作成、オンラインショップ指導)	○ ITインストラクター派遣の案内

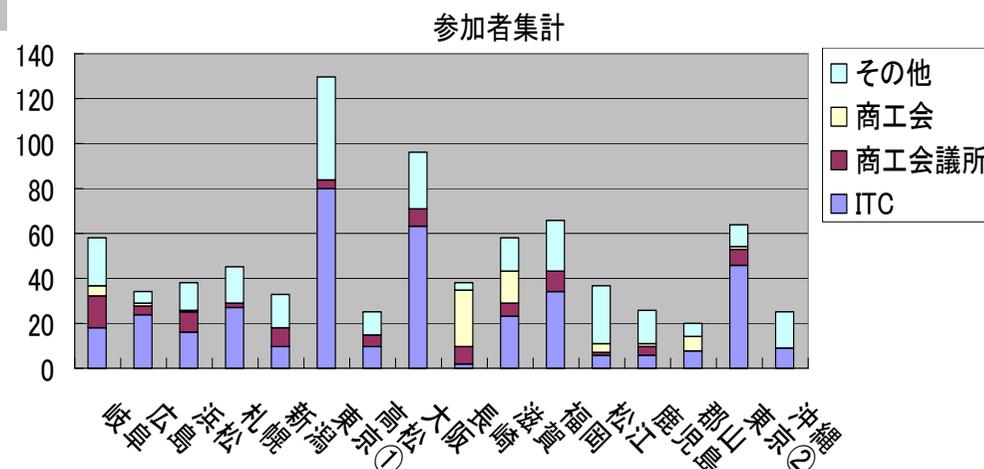
相談員からみた地域の対策状況

- 個人情報保護方針を策定しただけで、情報資産の管理にまで及んでいない。事故の経験がないため、危険意識が伴わない模様。
 - 経営トップにとって、情報セキュリティ対策は経営課題の優先度は低い。
- 業務委託先であるベンダー、システム構築会社に丸投げが現状
 - 親身になってくれる相談相手がいない。
- 対策の対象視野が狭く、例えばコンピュータウイルス対策が情報セキュリティ対策と考えてしまっている。
- ITの活用に向けての啓発が最優先課題の段階
 - 地域の商工会議所では、IT相談コーナーやIT相談会が催されるケースが多くなって来ているが、IT相談会そのものの説明が不十分で、来訪数は5～6件程度と低い。
- Web活用によるオンラインショッピング等の機運は高まっているが、背後にある情報セキュリティがビジネスの基盤となる事を訴えきれていない。
 - 対策する事が企業の便益に繋がる事をもっと訴えなければ、IT関連企業を除く一般の中小企業の情報セキュリティへの理解(漠然感)は進まない。

今後のセミナー開催の課題

◆セミナー参加者の地域的偏り

全17回のセミナーにおいて、ITCが多く存在している都市部に参加者が偏っている。



◆ITC以外の属性参加者の増加に向けた取組

ITC以外の参加者属性に対するセミナーの周知及び参加者数の増加に向けた取組が不十分。

日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会だけでなく、中小企業診断士協会、日本行政書士連合会などの地方組織をもち、中小企業を支援している全国団体に対しても事業及びセミナーの案内を行うことで、より地域に密着した相談体制が構築できる。

主な問題点の改善（セミナー）

◆セミナー内容に対する要望

より中小企業における情報セキュリティ対策に特化したセミナー内容を望む声が多い。

◆セミナーテキストに対する要望

より中小企業の経営者や従業員に分かりやすいセミナーテキストを求められている。

- 実際にうまくいった指導例が提示できると、セミナー内容が面白くなる。
- 座学のみでなく、参加型（参加者が考える場）やワークショップがあるといい。
- IPA作成の「情報セキュリティベンチマーク」等の活用との関連付けが考えられているとよいと思う。（まず診断してその後の対策の流れ）
- 1～2時間程度の短時間セミナー、またはインターネット回線によるテレビ会議形式で受講できると良い。
- 中小企業の社長や経営者に対して意識を高めてもらうための、指導にも活用できるDVDやビデオなどを使ったビジュアル教材があると良い。

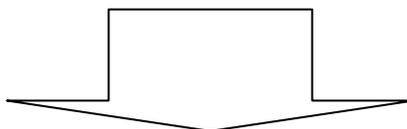
主な問題点の改善（相談コーナー）



- 企画段階から相談員が参画して実施。
- 商工会議所の企業指導担当者や中小企業支援センター職員への指導教育。
- 集客のための告知方法への工夫。
 - 告知内容に工夫し！身近な事象をテーマにする。
- セミナーやイベントとの組み合わせによる開催を行う。
 - IPAの情報セキュリティセミナーでの同時開催。
 - IT経営応援隊事業との連携。
 - 中小企業向け指導者育成セミナー開催後に実施。
- 相談員の品質確保への認定制度、教育・研修制度の構築。
- 中小企業のワンストップニーズに応えられる指導者支援ヘルプデスクの設置。
- 受講者にインセンティブを与え、将来指導者となる人材を多く集める。

最後に

- ITが深く浸透し、ITを上手に安全に使うことで、業務効率化を期待
- 中小企業の情報セキュリティ対策は、大企業と比べると大きな差
- 業務委託の観点で、大企業等は中小企業の情報セキュリティ対策の実施状況に関心
- 情報セキュリティ対策は、事業規模・業務内容により適切に行う(過剰投資ではなく、適切投資へ)
- コスト意識ばかりではなく、情報セキュリティの実施(情報の安全管理等)を取引先に積極的にアピールすることによる企業の信頼性の向上に寄与



関係者全員が主体的に、継続して活動することが重要！

